



news release

北海道コカ・コーラボトリング株式会社

〒004-8588 札幌市清田区清田一条一丁目2番1号

〔URL〕 <http://www.hokkaido.ccbc.co.jp/>

2005年3月3日



さらなる高品質と新鮮さをお届けします

札幌工場リニューアル完成

～環境に配慮した工場へ～

北海道コカ・コーラボトリング株式会社（本社：札幌市清田区 社長：北島義俊）は、構造改革として進めてきた札幌工場（札幌市清田区）のリニューアル工事が完成し、2005年3月から稼働を開始しました。

分散していた製造ラインの統合・再配置と調合設備の集約工事の完成により、お客様へさらなる高品質と新鮮な商品をお届けします。

また、当社はコカ・コーラシステムが独自に設計した環境マネジメントシステム「eKOシステム」を導入し、「環境負荷の低減」と「経営効率の向上」を目指しております。なかでも札幌工場は、既に環境に配慮した天然ガス燃料を使用するとともに、排出される全ての廃棄物を再資源化するゼロエミッションを達成しております。

このたびのリニューアル完成により、燃料使用量が削減され、全社で炭酸ガス（CO₂）排出量が2003年度から2年間で約15%、約4,000トン減少する見込みです。これは約680世帯分の炭酸ガス（CO₂）排出量削減、又は炭酸ガス（CO₂）を吸収する森林66.6ha（札幌ドームの12倍の面積）の新たな造成に相当します。

なお、今回の札幌工場リニューアルは本年1月から本格稼働したコカ・コーラナショナルビバレッジ株式会社（CCNBC）が推進している全国統合サプライチェーンマネジメント（SCM）構想の一環でもあります。

■札幌工場リニューアルの概要

札幌工場リニューアルライン

- ・昨年末に閉鎖した帯広工場の製造ラインを札幌工場に統合・再配置することで生産性の向上と環境負荷低減がはかられる。
- ・生產品目 コカ・コーラ、ファンタ、アクエリ阿斯、Qoo（クー）の缶製品（190ml、250 ml、350 ml、500 ml）
- ・年間生産能力 1,000万ケース

調合設備の集約

- ・札幌工場にある3つの製造ラインの調合設備を一箇所に集約し、原材料を自動供給することにより、一層の品質向上と省力化がはかられる。

総工事費 22億8千万円

- 札幌工場は井戸水を使用しておりますが、札幌市の災害応援用井戸として指定されており、災害時には2リットルPET換算で約66万本の供給が可能です。

■eKO（イーケーオー）システムについて

「eKOシステム」は、環境マネジメントシステムの国際規格であるISO14001などを参考に、コカ・コーラシステムが独自に設計した環境マネジメントシステムです。清涼飲料業界の主な環境負荷である「水使用量」、「エネルギー使用量」、「廃棄物発生量」の低減により、「環境負荷の低減」と「経営効率の向上」を目指しています。それを実現するために、「コミットメント/実行への決意」、「コンプライアンス（法令遵守）とさらなる実践」、「環境負荷の最小化と価値の創造」、「アカウンタビリティ/リーディングカンパニーとしての責務」、「責任ある企業市民として」を5つのポリシーとし、「環境」、「社会」、「経済」の視点で取り組んでいます。

■全国統合サプライチェーンマネジメント（SCM）構想について

コカ・コーラシステムの調達・製造・物流における全ての業務を、2005年1月からCCNBCが一元的に統括することにより、①コスト低減の加速、②生産能力の全国最適化、③市場への迅速な対応と顧客サービスの強化、④品質管理とフレッシュネスの向上、⑤環境負荷の低減をはかります。



＜本件に関するお問い合わせ先＞
北海道コカ・コーラボトリング株式会社 広報部
011-888-2091